

1-1-5 飛行機（丘珠空港）

広域で分散型の地域構造をもつ北海道において、企業の活動拠点や高度医療機関など高次都市機能が集積する札幌と地方主要都市を高速移動手段である飛行機で結ぶ丘珠空港は、札幌市はもとより北海道全体にとって重要な空港である。

平成 22 年 3 月、北海道の航空ネットワーク形成の考え方や各空港のめざす姿とその実現に向けた方策を明らかにするために北海道により策定された「道内空港活性化ビジョン」においても、新千歳空港との役割分担を踏まえながら、道央圏と道内各地の交流を支える道内航空ネットワークの中核を担う空港として位置付けられている。

< 新千歳空港と丘珠空港の役割分担の考え方「道内空港活性化ビジョン」 >

新千歳空港

- ・ 観光、ビジネスなど本道の経済活動や、道民の快適な暮らしを支える空港
- ・ 道外空港と道内各空港の中継機能を果たす空港

丘珠空港

- ・ 札幌市と地方のビジネス需要に応え、企業活動を支える空港
- ・ 札幌市などが有する高度医療機能や医師派遣など地方のニーズに応える空港

丘珠空港の利用状況については、平成 22 年 7 月より ANA(A-net)が撤退したことにより、これまで A-net と HAC (北海道エアシステム) の 2 つの航空会社により 5 路線 (稚内、女満別、中標津、釧路、函館) の運航であったものが、HAC の 2 路線 (釧路、函館) となったため利用客は減少したが、これまでビジネスマンを中心に比較的安定した利用があった。

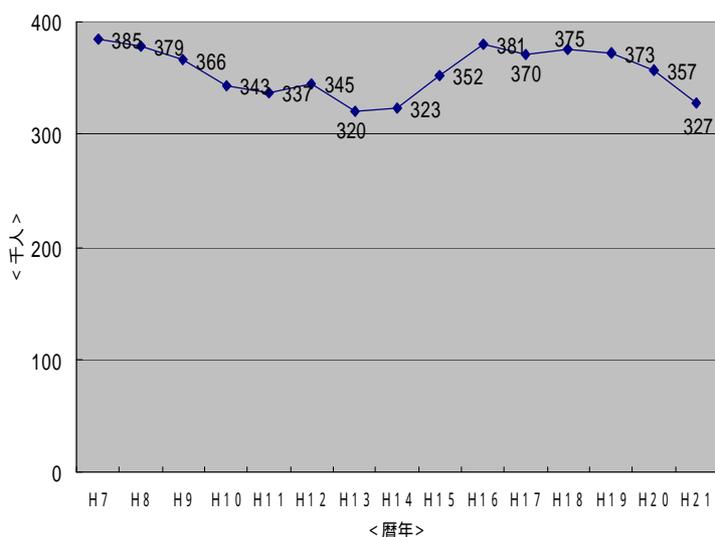


図 1-25 丘珠空港の利用客推移

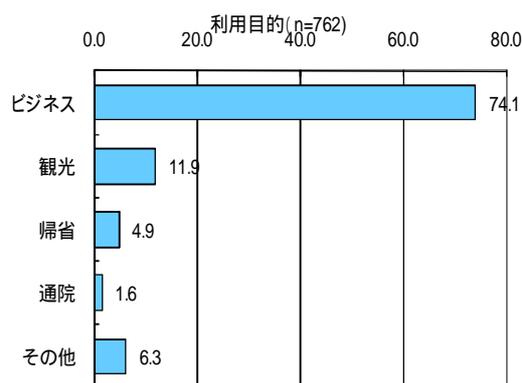


図 1-26 丘珠空港における目的別利用率

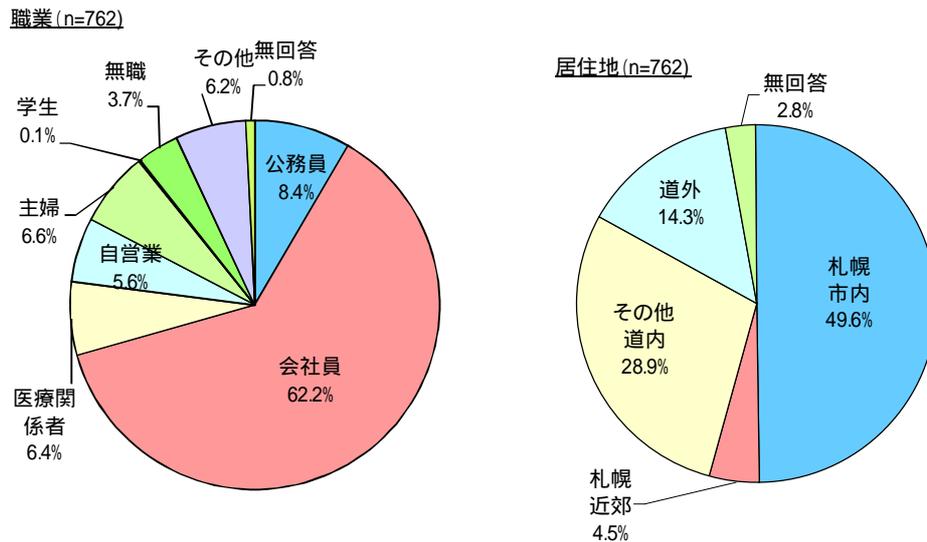


図 1-27 丘珠空港における利用者構成比

平成 21 年度、丘珠空港路線利用者を対象に行ったアンケート調査では、札幌都心から近く利便性が高いことから、利用者の 8 割以上が丘珠空港路線の存続を希望していたが、ANA (A-net) 撤退後の丘珠空港路線の利用実績を見ると、旅客数及び搭乗率共に増加しており、丘珠空港のニーズの高さを示す結果となっている。

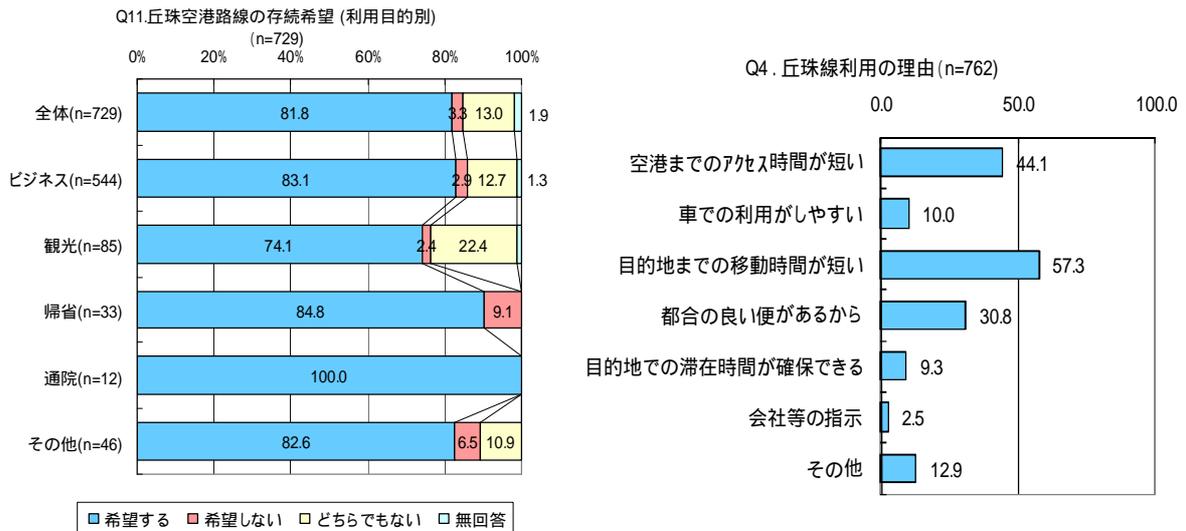


図 1-28 H21 アンケート結果

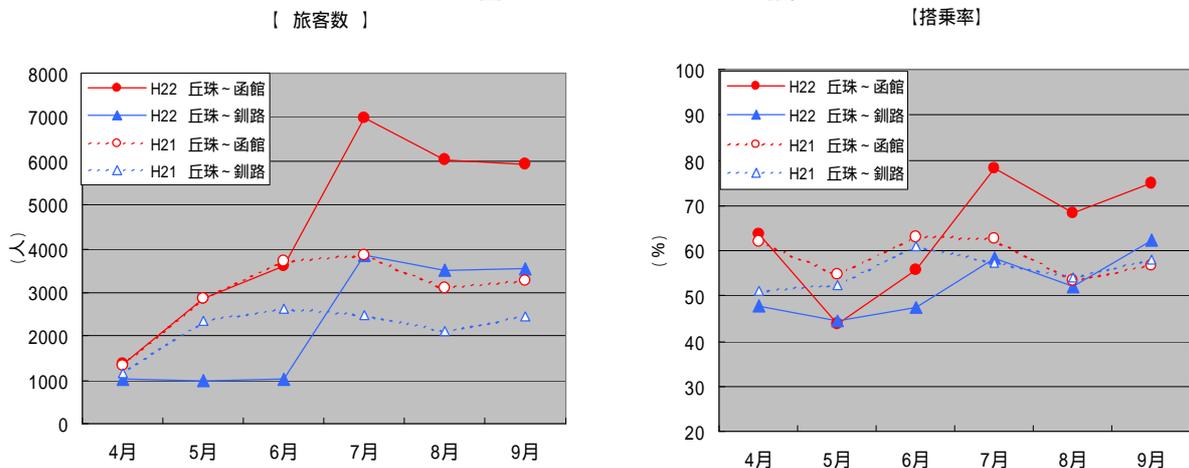


図 1-29 旅客数および搭乗率の推移

丘珠空港路線の維持のためには HAC の役割は重要であると考えており、現在、HAC の丘珠集約を前提に、北海道と役割分担を協議しながら HAC の経営維持について検討を進めているところである。

今後、丘珠空港が都市内空港の利便性を十分に発揮し、引続き道内航空ネットワークにおける役割を担っていくために、平成 21 年度の「丘珠空港路線の利用促進を考える懇談会」からの「丘珠空港路線の利用促進のための提言」を踏まえ、丘珠空港路線の利用促進の取組みについて、国や北海道など関係機関と検討を進めていく。

< 利用促進の検討テーマ >

利用促進実施の枠組づくり：各関係機関の役割分担

航空路線の強化・維持方策：ビジネス利用促進、観光利用促進

空港のプロモーション方策：ブランディング、情報発信

愛称やロゴ、キャラクターなどのブランド要素を設定することにより、認知度やイメージの向上を図ること

飛行機（丘珠空港）

< 想定される事業・施策 イメージ例 >

- ・ 丘珠空港の道内空港網の拠点空港としての機能向上と利用促進を図る。